



与野西北小だより

7月号

令和7年6月30日

【学校教育目標】

- ◇みんなと協力する子（徳育）
- ◇自分の力で考える子（知育）
- ◇心身ともに健康な子（体育）
- ◇人との関わりを大切にする子（響育）

【学校経営方針】

みんなでつくる みんなの与野西北小学校

【児童会スローガン】

せ・い・ほ・く だ・い・す・き

【西北小学校50周年キャラクター】
西北五十丸



与野西北小学校

TEL853-0109

ホームページアドレス <http://yonoseihoku-e.saitama-city.ed.jp/>



エージェンシー

校長 緒方 健二

夏が来ました。気が付けば、もうすぐ1学期が終了となります。今年の夏も猛暑が予想されます。体調管理には、いつも以上に気を付けて、安全に過ごしていきましょう。

さて、本校では八王子中学校と合同で**学校運営協議会**を組織しています。令和6・7年度は、教育委員会から「児童生徒のエージェンシー（※）をはぐくむコミュニティー・スクール研究協力校」の指定を受け、9年間を通して、子どものエージェンシーを育むことを目指しています。

そこで、学校運営協議会のテーマ等を改めて紹介いたします。

めざす「子ども像」

地域によって育まれる『輝くひとみ』の子どもたち

子どもたちに身につけさせたい力

<与野西北小学校>

- ・自分自身や自分の周りの人たちの生活をよりよくしたいという視点を持つ
- ・生活の中から問題に気づき、他者に働きかけながらその解決に向けて自分なりに考える
- ・身近な問題の解決に向けて課題を設定し、主体的に課題解決に取り組む

<八王子中学校>

- ・現実にある課題や争点について、自らの課題として主体的に考え、判断する
- ・複数の立場や意見を踏まえて根拠に基づき、公正に判断し、主張する

エージェンシーを育むためには、実体験の積み重ねが必要です。9年間を通して、発達段階に合わせた取組を行ってまいります。また、ご家庭におかれましても、以下3点を心掛けていただければと思います。①子どもの自己決定を促進する。②子どもの意見を傾聴する。③大人が挑戦するロールモデルとなることです。間もなく夏休みになりますので、家庭や地域の中で、エージェンシーが発揮される機会を大切にしていきたいと思っています。

学校運営協議会では、昨年以来、「登下校のルール」や「あいさつ」について、熟議を重ねています。「登下校のルール」については、児童、保護者のご意見をもとに、学校運営協議会でも協議を行い、決定したルールが学校ホームページに掲載されています。しかし、安全な登下校の課題は残っており、協議会では熟議が継続されています。また、「あいさつ」は、地域の方から、「子どもに声をかけていいかどうか迷ってしまう。」という声が聞かれます。このような具体的な問題を、様々な立場から熟議をいただき、改善に向けた活動・行動へとつなげていくことになっています。

今後も、学校、家庭、地域が協働し、地域の中で子どものエージェンシーを育ててまいりたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



※エージェンシー

子どもたちが学校で学んだことを地域社会で生かし、多くの他者と協働して、自分の考えや行動で、自身の生活や地域、世の中をよりよく変えようとする姿